

RF信号の長時間キャプチャ&プレイバック

Agilent Technologies and X-COM Systems

RF信号のキャプチャ／プレイバック機能により、ジャミング・ソリューションの有効性の向上



フィールドテストの結果を実験室に持ち帰りたいと思ったことはありませんか？

現場でのトラブルの度に測定器やその他の機材を持ちだして、時には遠く離れた現場でトラブルが再現するまで延々と実験を繰り返す。現場の電波環境をそっくりそのまま持ち帰ればいいのには思いませんか？

あるいは、いつ起きるかわからない電波妨害に対して、長時間連続して電波監視を行いたいと思ったことはありませんか？

こうした、電磁環境の記録には、RF信号のキャプチャ・プレイバック・ソリューションが有効です。

Agilent TechnologiesとX-COM Systems社によるRF信号のキャプチャ／プレイバック・ソリューションを使用すれば、RFデータを長時間捕捉／記録して、後で再生したり解析することができます。ソリューションは、Agilent N90x0A Xシリーズ

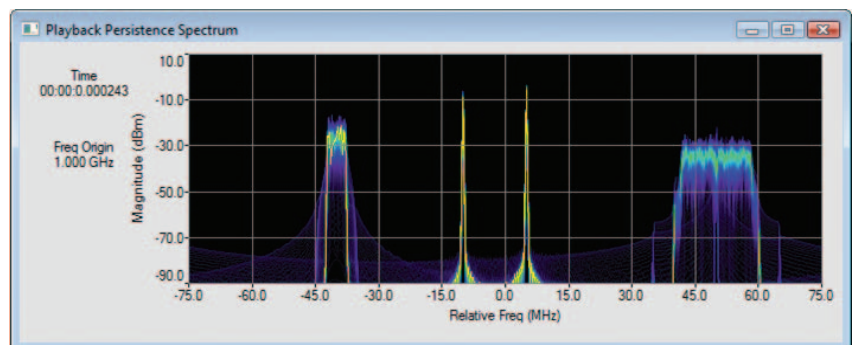


Agilent Technologies

Solutions Partner

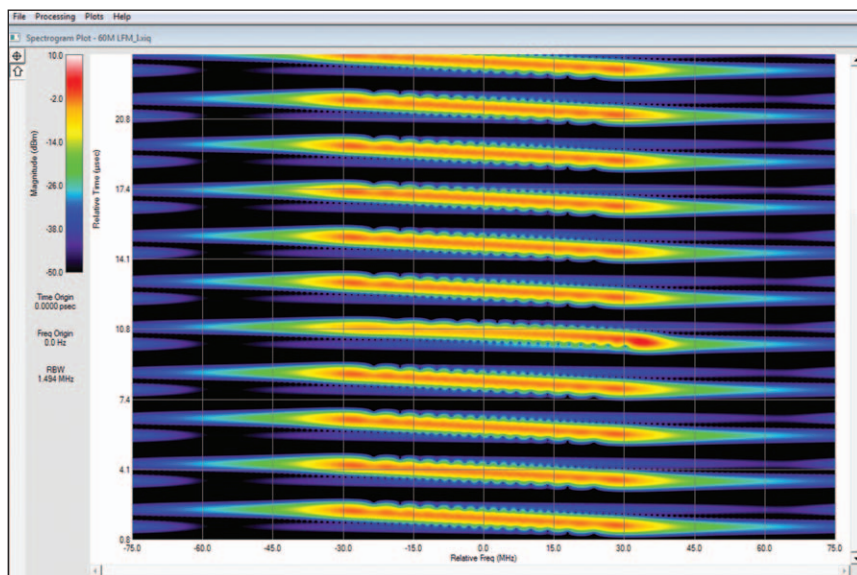
シグナル・アナライザとX-COM IQC2110 RF信号記録システムで構成され、複雑なRF環境で波形を記録／解析／作成できる帯域幅、ダイナミック・レンジ、周波数帯域を提供します。

Agilent N90x0A Xシリーズ シグナル・アナライザを使えば、中心周波数～50 GHz、帯域幅40 MHzの帯域の信号を、ノイズを抑えて(PXAでは75 dBのSFDR)捕捉することが可能です。このため、アナライザは、クラッタや混信が生じるような厳しいRF環境でもジャミング信号を捕捉することができます。また、X-COM



Agilent Technologies

RF信号の長時間キャプチャ&プレイバック



IQC2110 RFシグナル・レコーダでは、選択した収集帯域幅によっては、連続したデータ・ストリームやイベント・マーカを最大13日間記録することができます。IQC2110とX-COM社の連続再生ジェネレータ(CPG2110)を組み合わせれば、Agilentのベクトル信号発生器を使用して、記録済みスペクトラムの全部または一部をフル16ビットのI/Q精度で再生することも可能です。これ

らの機能により、捕捉データから目的の重要な信号を迅速に検出することができます。

AgilentとX-COM社のRF捕捉/再生ソリューションを使用すれば、複雑なRF環境の信号を長時間にわたって記録/解析できるので、予期しない電磁妨害などのイベントを確実に捕捉/記録し、実験室に持ち帰って解析・再現できるのです。

オーダー情報

Agilent Technologies

N9030A	PXAシグナル・アナライザ	~ 50 GHz
N9020A	MXAシグナル・アナライザ	~ 26.5 GHz
N9010A	EXAシグナル・アナライザ	~ 26.5 GHz

X-COM Systems

IQC2110	RFシグナル・レコーダ
CPG2110	連続再生ジェネレータ

www.agilent.co.jp



X-COM Systems社は、米国国防総省(DoD)の諸部門および世界中の商用技術関連企業向けに、最先端の製品およびソリューションのデザイン、製造、販売を行なっています。

同社の製品は、日本では丸文株式会社を取り扱っています。

www.xcomsystems.com

アジレント・テクノロジー株式会社

本社〒192-8510 東京都八王子市高倉町 9-1

計測お客様窓口

受付時間 9:00-18:00 (土・日・祭日を除く)

TEL ■■■ 0120-421-345
(042-656-7832)

FAX ■■■ 0120-421-678
(042-656-7840)

Email contact_japan@agilent.com

電子計測ホームページ

www.agilent.co.jp

● 記載事項は変更になる場合があります。
ご発注の際はご確認ください。

© Agilent Technologies, Inc. 2012

Published in Japan, October 9, 2012
5990-7548JAJP
0000-00DEP



Agilent Technologies